

訪 問 記 録

レアメタル資源再生技術研究会

会 社 名	新興化学工業 株式会社	訪 問 日	平成 27 年 2 月 18 日 (水)
訪 問 者	会長 藤田豊久		
対 応 者	取締役社長 西田和彦、堺臨海工場長、尼崎工場長 他 6 名		
会 社 概 要 企 業 デ ー タ	住 所：大阪市中央区南船場 2-7-26 シンセイビル 8F TEL：06-6263-6465 代 表 者：取締役社長 西田和彦 FAX：06-6263-6464 資 本 金：1 億 円 従 業 員 数：約 100 名 H P：http://www.shinko-chem.co.jp/		
事 業 概 要	我が国で初めて、火力発電所の重油ボイラーから排出される燃焼灰よりバナジウムを回収する技術を開発した。堺臨海工場では、各種バナジウム化合物の製造と産業廃棄物の処理を行っている。尼崎工場では、最初は硫酸セレン泥の回収から始まり、複写機メーカーから発生するスクラップセレンの回収、今は主として産銅メーカーから購入するセレンを主原料として高純度化し、製錬から製品化までの一貫生産を行っている。他に、テルル、インジウム、ガリウム等の回収をしている。		
会 長 の 訪 問 後 記	堺臨海工場では、火力発電所の重油煤とスラグに含まれるバナジウムを回収している。重油煤を水処理後、ガスを使用したキルン 2 基で焼成して焼成灰としスラグと共に粉砕、ろ過乾燥後、ソーダ灰と混合し、焙焼キルンを使用して反応させ、 NH_4VO_3 として回収している。これらのプロセスは既存のインフラであるキルンがあるから可能となる。さらに塩素と反応させ、液体の $VOCl_3$ を密閉容器中で製造しており、腐食を防ぐ特殊なステンレスと容器が安全性を保つのに重要であり、産物はエチレンプロピレンゴム製造用の触媒となる。他にも各種触媒用のバナジウム化合物を製造しており、粉の種類により色が変わる。尼崎工場では銅製錬所副産物から性質の類似したセレンとテルルを分離して抽出し、4N 以上の高純度テルルやセレンを製造しており、半導体材料に使用される。レアメタルのリサイクルにおいて、一定量の品位のレアメタルを含む廃棄物が連続的に収集でき、処理工程に供給可能なことが重要と思われる。		
			
	写真は堺臨海工場の正門である		